

## 「子宮頸がん検診」を受けていますか？

- 子宮頸がんは30代から50代の方が多くかかっています。
- 子宮頸がんの多くは**HPV**(ヒトパピローマウイルス)が原因。
- 性交経験のある人の多くが**生涯に一度はHPVに感染**します。HPVの感染は無症状で1～2年で自然になくなりますが、一部は持続して、がんのリスクを上げる場合があります。

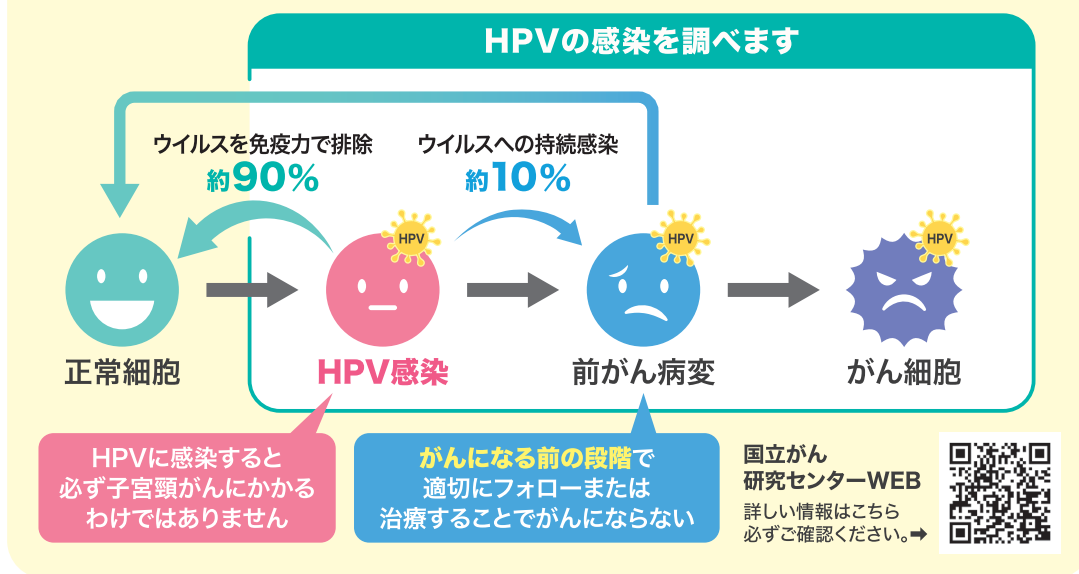


横浜市では子宮頸がん検診で「**HPV検査**」を実施しています！

### HPV検査とは？

子宮頸部の細胞が、がんの原因ウイルス(HPV)へ感染しているかを調べます。

#### HPV感染と子宮頸がんの発生の流れ



HPV検査が陰性(－)の場合は「**5年に1度**」の検診です

**HPV陰性(－)** → 次の検診は**5歳刻みの節目年齢(35、40、45、50、55、60歳)**です。受診年齢によっては次回の検診までの間隔が5年に満たない場合があります。

**HPV陽性(+)** → 細胞の状態を調べる検査を行います。(この検査のための再度の受診は不要) 検査結果に応じて、**1年後の再検査**または**精密検査**を受けます。

# 子宮頸がん検診(HPV検査)ってどんな検査?

## 検査方法

内診台で医師が細胞を採取します

※月経(生理)中は避けて検査を受けてください。

## 費用

**2,000円**

次の方は費用が免除になります。必要な手続きについては事前にお問い合わせください。

- 生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付制度が適用される方
- がん検診を受診する年度の前年度における市民税県民税が非課税世帯・均等割のみ課税世帯の方



## 受診方法

### STEP 1 受診する医療機関を選ぶ

※医療機関によっては予約が必要な場合があります。WEBページ等をご確認ください。



横浜市  
子宮頸がん検診  
実施医療機関  
はこちら

### STEP 2 検診受診時に以下の2つを持って 医療機関へ行く

- ① 同封のご案内(受診券シール)
- ② 本人確認書類(マイナ保険証等)

➡ ①②を忘れると受診できません!  
届いた封筒の中に①が入っています。

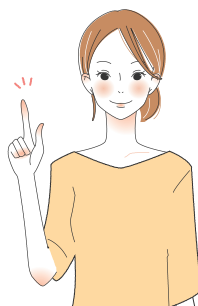
## 対象者

横浜市内在住の**30～60歳の女性**

20～29歳、61歳以上の方の子宮頸がん検診は、細胞診検査です。

### 子宮頸がん検診の対象外となる方

- 子宮頸部を有さない方  
子宮頸部の疾患で治療中・経過観察中の方も対象外となることがあります。  
検診の受診可否は、医師に相談してください。
- 性交渉の経験が無い方  
子宮頸がんにかかるリスクは低いですが、希望があれば受診可能です。



心配な症状がある時は、  
がん検診でなく婦人科を受診しましょう